



地方を思い 国を思う

大分県総務部市町村振興課

田川 陽子

TAGAWA Yoko

平成26年 4月 総務省採用

大臣官房秘書課

平成27年 4月 自治行政局公務員部福利課

平成28年 4月 現職

『市町村と国の架け橋に』

現在私が所属する市町村振興課では、おもに県内市町村の行財政政を所管しています。中でも、私の主な担当業務は普通交付税の算定です。普通交付税は一定の基準により、どのくらいその自治体は財源が足りないのかを算定し、国から各自治体に交付される地方の貴重な財源です。交付税業務は総務省が所管する業務であるため、県内市町村と総務省の間の立場となり、総務省の業務に県庁職員として携わっています。

現場となる市町村がより円滑に行政を行うことが出来るよう、様々な場面でのつなぎ目となるのが役目である当課には、「県と市町村はパディ」との言葉があります。県は市町村と一体となり、真剣に市町村のことを思って仕事をしています。地方の現場に入ることによって働く方々の気持ちを知ることが出来ました。地方自治の現場は地方であること、そこで働く人たちの思いを胸に、地方自治を所管する総務省での仕事にも励みたいと思っています。

『地方も国も味わいたい!』

入省から2年で地方出向を経験できる、これは私が総務省に入ろうと思った大きな魅力の一つでした。総務省に入ってからの2年間でみた先輩方は、自分の出身地はもちろん、出向した地域が第2第3のふるさととなり、その土地の方々への思いを胸に業務にあたる姿がとても素敵でした。

また、省には全国の自治体からたくさんの職員の方々が出向されてきています。本省での出会いを通じて、会いに行きたい人が全国に出来、その人を通じてまた一つ知らなかった地方の魅力を発見できます。このように、たくさんの方々との出会いが多いことも総務省の魅力だと働いてみて気づくことが出来ました。

もちろん楽しい日ばかりではありませんが、必ず誰かが助けてくれる、そんな職場環境も総務省にはあります。興味も不安も全部抱えて、まずは直接私たちの話を聞きに来ませんか?きっと面白い話をしてくれる職員が総務省で待っていますよ。

Some One Week

Monday

総務省からの照会を受けて、普通交付税の算定に必要な数値を市町村へ照会。

Tuesday

まもなく行われる市町村向けの交付税算定事務説明会の資料作りをします。

Wednesday

照会に関する市からの問い合わせに対応。定時退庁日のため早く帰ります。

Thursday

市町村から返ってきた照会への回答を資料とチェックします。



Friday

チェックした回答を総務省へ回答。せつかくの金曜日、大分グルメを求めます!



Private Time

「日本一のおんせん県おおいた」はたくさんの温泉はもちろんのこと、自然も非常に豊かです。休日は、県内にある18市町村を巡りながら様々な季節のイベントに出向いたり、時にはアウトドアも。また、隣県にいる総務省の同期と出向県自慢を兼ねてそれぞれの県を訪ね、他県の魅力を発見することも休日の楽しみの一つです。